

第8回 遺伝子栄養学研究会 学術集会

後援:北海道経済産業局
北海道

開催:2013年8月2日(金)
12:30~17:30

北広島クラッセホテル
3階 クラッセホール【大ホール】
北海道北広島市中の沢316-1
最寄り駅:JR北広島駅

大会会長:坂本 和一
(筑波大学生命環境系 准教授)

基調講演

「 α ディフェンシンによる腸内環境の制御
—その破綻は疾病を招くか—」

綾部 時芳

:北海道大学大学院先端生命科学研究所 教授

一般演題

1. 「核タンパクによる免疫細胞の増強効果の検討」 澤智華(昭和大・医・顕微解剖学)他
2. 「 β -グルカンによるIL-10産生性制御性T細胞の誘導と抗炎症機能」 辻典子((独)産業技術総合研究所)他
3. 「酵母菌体成分に対する自然免疫系受容体の分子解析」 安達禎之(東京薬科大・薬学・免疫)他
4. 「門レベルでの腸内フローラ解析の意義」 平敏夫(コスモ・バイオ株式会社プライマリーセル事業部)他
5. 「経腸栄養フォーミュラで飼育したマウスのコレステロール代謝の比較」 篠田一三(森永乳業株式会社栄養科学研究所)他
6. 「視床下部腹内側核(VMH)破壊はガストリン細胞の過形成を介せずにガストリン産生と分泌を増加する」 吉村英悟(桐生大・医療保健学)他
7. 「タモギタケエキス末含有成分エルゴチオネインは神経新生を促し抗うつ作用を示す」 中道範隆(金沢大・薬・分子薬物治療学)他
8. 「核タンパクの摂取は老化促進マウスの老化に伴う空間学習能の低下を軽減する」 桐山恵介(昭和大・医・顕微解剖学)他
9. 「鮭白子ヌクレオプロテインはサーチュインを介したDaf-16/FoxOの活性化により熱ストレスにより低下した運動の回復を促進させる」 古橋翼(筑波大・生命環境科学)他
10. 「Hydroxytyrosol stimulates lipolysis via A-Kinase and Extracellular Signal-regulated Kinase activation in 3T3-L1 adipocytes」 Riadh Drira (筑波大・生命環境科学)他
11. 「脂肪細胞の細胞老化に伴う形質変化とファイトケミカルの生理作用」 平石吾子(筑波大・生命環境科学)他

参加申し込み及び問い合わせ

年会費:2,000円(参加無料)

申し込み方法:メールまたはFAX E-mail:t-takeshima@idenshi.com

事務局:NPO法人遺伝子栄養学研究所

FAX:0123-36-0005